



しかはま自然観察会

のらえもん

2023 年度

No. 17

2024. 03. 02

『 人も 自然も みんな友だち 』

第17回活動 梅見物と早春の生き物観察

今年度最後の活動。

もうすぐ1年生のゆうきくんと妹のりんちゃんを含めた

10人で、園内を観察しながらゆっくり歩きました。

梅は終わっていましたが、たくさんの草花が咲いていました。

それらの名前を、1年生の文軒くんはどんどん書いてくれました。

最後に、お父さんお母さんがヨーヨーを作ってくれました。

1, 日 時: 2024年3月2日(土) 14:00~16:00

2, 天 気: 曇り 寒い一日でした。

3, 場 所: 都市農業公園

4, 参加者: 総数10	内訳	大人	3
		小学生	1
		幼児	2
		スタッフ	4

5, 活動の様子

日が照らず、寒い中の活動になりました。が、みんな元気いっぱいに出声しながら観察しました。

○ まずは、「寒い」と言う文軒くんの体を温めることから。

だんだん上手になり、大縄跳びで20回までいきました。スゴイ!

○ 次に出てきたのは、段ボール。(空気砲)

ガムテープで立体になり、円い穴の開いたところから線香の煙を入れました。

1メートル先には、ローソクが立っています。

子どもたちが順番に

段ボール箱の側面を

「エイ!」とたたきます。

すると、ローソクの炎が

消えてしまいました?



○ いよいよ自然観察です。

まずは、黄色い花を咲かせている木の所へいきました。名札をみると「サンシユユ」と書いてあります。

3月頃、葉より先に黄色い花を咲かせます。花の少ないこの季節、それはみごとに美しさです。

梅園にはいると、花は終わって居ましたが、いろいろな種類の梅があることに気づきます。それを、文軒くんがたくさん読み上げてくれました。

果実用の梅には、白加賀（シロカガ）玉瑛（ギョクエイ）豊後（ブンゴ）南高（ナンコウ）があります。寒い時期に花が咲きますが昆虫が少ないため、受粉樹が必要です。

梅は、中国に生えていた野生の梅に寒さや乾燥に強い杏（アンズ）が自然に交雑して、日本へも広まったようです。

そして、梅にまつわる言葉を調べてみました。

*ウメにウグイス、サクラはまだかいな。

*サクラ切るばか、ウメ切らぬばか。

*日の丸弁当、梅干しは万能薬。

*ウメ一輪一輪ほどの暖かさ（芭蕉の弟子、服部嵐雪の作）

○ ヨーヨーのお土産

ふり返りを書き、ヨーヨーのお土産をもらって、解散になりました。

6、ふり返りの感想

○ 花とかが、きれいだった。

あたらしいかん字をおぼえた。

いっぱいあるいて、たのしかった。

かしわざき小1年

○ 春の植物について、実際に歩きながらゆっくりみることができました。

ふだんは、図鑑や映像を見ておわりですが、子どもたちとゆっくりかんさつして、少し絵もかけて、楽しかったです。

うめの花 歩けばちがう 色を見る

母

○ 普段何気なくみていた植物について知ることができ、学びが深まりました。

学生時代の生物や理科を思い出しました。

ありがとうございました。

空気の実験もなかなかできないので、貴重な実験でした。

父

○ 久しぶりに、都市農業公園をぐるっと回りました。

梅は終わっていましたが、あちこちに春の草花をチラホラ見ることができました。

今日は3月2日。花々が咲くまであと少し。

都市農業公園の桜が待ち遠しいです。

梅の花 花が終われば 春が来る

スタッフ